

普及活動情勢報告（令和6年12月分）

幡多農業振興センター農業改良普及課

地元の花きを知ろう！

～幡多農業高校 花き農家視察～



11月26日、幡多農業高校の2年生4名が、黒潮町のJA高知県大方支所花き園芸部会の花き農家を視察しました。数ある花の品目から、部会で最も栽培戸数が多い「宿根かすみ草」と11月から出荷を迎える「ダリア」を選定しました。

農業改良普及課は、視察先の農家の紹介及び上記2品目の栽培方法の説明を行いました。生徒からは、「ダリアの水あげには普通の水を使っているのか」「ピンク色の宿根かすみ草はかわいい」などの声が聞かれました。

今後も幡多農業高校への出前授業を実施し、生徒の農業への関心を高める取組を行っていきます。

ミョウガ新病害の対応策は？

～JA宿毛支所ミョウガ部会目慣らし会～



11月26日、JA高知県宿毛野菜出荷場でJA宿毛支所ミョウガ部会の目慣らし会が開催され、生産者7名が参加しました。

農業改良普及課は、葉鞘褐色腐敗病やファイトプラズマによる芯腐病の予防方法について情報提供しました。

生産者からは、「農薬はどのタイミングで散布したらよいか」など、農薬の使用方法について質問がありました。

今後も生産者からの要望が強い、病虫害対策や高温対策などの情報提供を行い、収量増加に向けて支援していきます。

栗の単価は上がった、後は生産量を上げるだけ！

～JA西土佐栗部会総会～



11月29日、JA西土佐出張所で栗部会総会が行われ、生産者18名が出席しました。

会では、R6年産の出荷販売状況の報告や、試験販売で高単価取引となった‘美玖里’の本格的な出荷等について意見が交わされました。

農業改良普及課は、‘美玖里’の防除対策の一環として、JAが仲介しているドローン防除作業の委託推進や、樹体の長寿命化につながる剪定時の注意などについて説明しました。

農業改良普及課は、今後も生産量の向上を目指し、支援していきます。

土佐文旦の環境データを知ろう！

～すくも文旦育成会～



12月4日、宿毛市「すくも文旦育成会」のメンバー5名と四万十市の土佐文旦農家1名のほ場に環境測定装置（アウル・ソーラー）を設置しました。

農業改良普及課は、環境データの活用方法などを6名の農家に情報提供し、設置場所の選定について助言しました。

農家からは「コンパクトで作業に支障ない」「ほ場の土壌水分がタイムリーに見える」「SAWACHIの活用法は？」などの声が聞かれました。

今後も現地検討会や個別巡回などを通して情報提供を行い、環境データのグループ化による栽培技術の向上にむけ支援していきます。

イチゴ‘おおきみ’の今後の栽培管理について ～JA中村支所おおきみ部会現地検討会～



12月18日、JA中村支所おおきみ部会の現地検討会が開催され生産者10名、関係機関5名が参加しました。

本会では、各生産者のハウスを回って栽培状況を確認した後、JA中村支所販売課で関係機関から情報提供が行われました。

農業改良普及課は、各生産者の生育調査のデータをまとめたグラフを提示しながら、栽培管理について指導しました。

生産者からは「今後は日中の高温や夜温の管理に注意したい」などの声が聞かれました。

今後も生育調査の結果を定期的に報告し、‘おおきみ’の品質・収量向上に向けた支援を行っていきます。

